

河道閉塞等の対応状況について

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所



河道閉塞箇所及び大規模崩壊箇所における対策方針については、河道閉塞等対策検討委員会（平成24年5月に設置）において検討が行われ、第4回目委員会（平成25年2月）において、各箇所の対策や警戒避難体制などの基本方針がまとめられた。

河道閉塞等対策検討委員会 委員一覧（敬称略）

委員長 水山 高久（京都大学大学院農学研究科 教授）

委員 後藤 宏二

（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター センター長）

委員 千木良 雅弘

（京都大学防災研究所 地盤災害研究部門 教授）

委員 服部 敦

（国土技術政策総合研究所 河川研究室 室長）

委員 藤田 正治

（京都大学防災研究所 流域研究センター 教授）

委員 松村 和樹

（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授）

提言（要旨）

○ 河道閉塞等土砂災害対策の基本方針・対策内容

- ・ 目標：崩壊箇所や下流部での土砂・洪水氾濫被害を防止する。
- ・ 考え方：河道閉塞部は可能な限り高さを低くする。
崩壊地等は残存リスクを想定し、効果的な対策を選定する。
- ・ 計画：100年超過確率規模の降雨量とし、規模これを上回る場合も致命的な破壊に至らない計画とする。
- ・ 施設：対策施設には砂防ソイルセメントを活用。
配置 河道閉塞部末端には砂防堰堤を設置。維持管理負担が少なくなるよう計画。

○ 警戒避難の考え方

- ・ 監視機器等を整備し、関係機関との情報共有を行う。
- ・ 情報提供は迅速に実施。

○ 今後の対策にあたっての課題

- ・ 各地区の状況変化等に応じた、適宜見直し検討。
- ・ 水・土砂移動現象のメカニズム解明や新対策手法の検討。



委員会討議状況（平成25年2月14日）

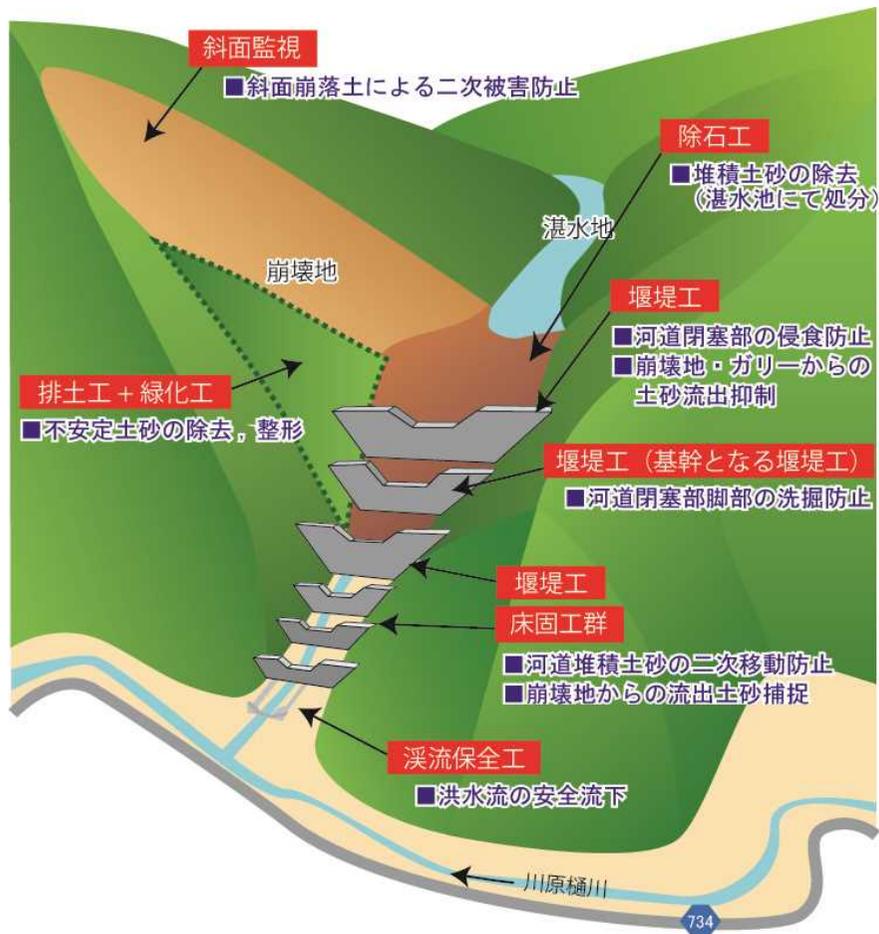


桜井所長(左)へ提言書を手渡す水山委員長

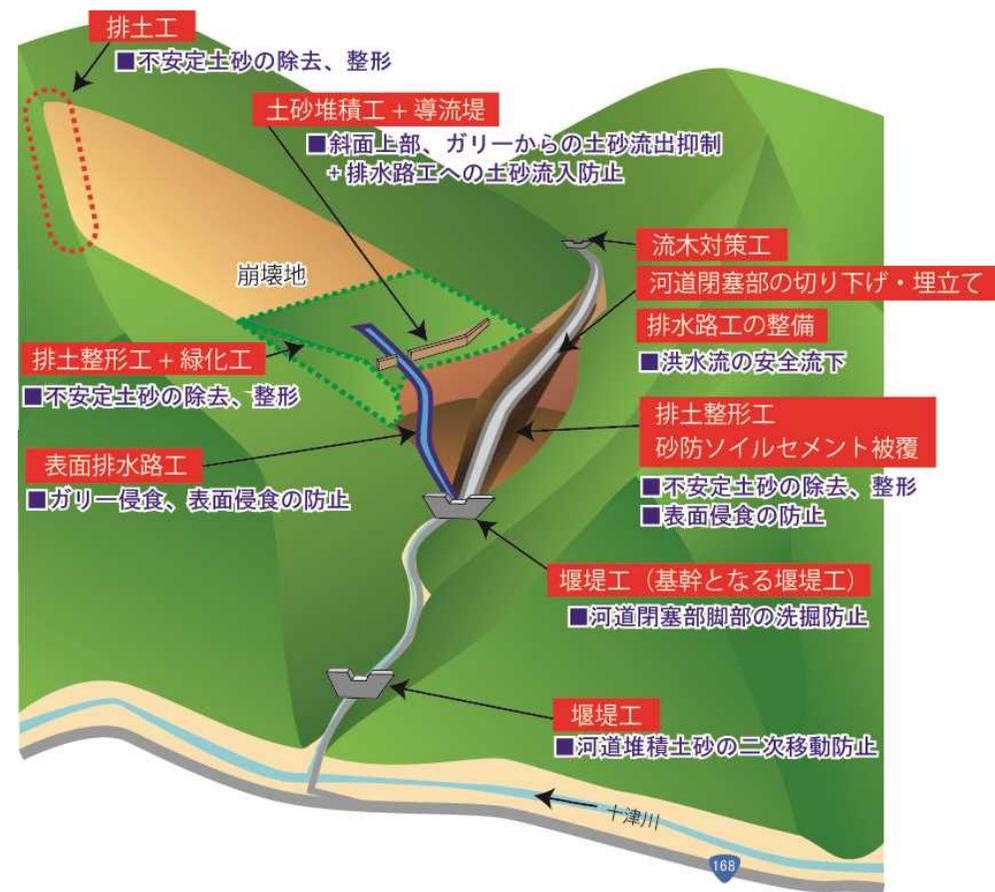


委員会終了後取材を受ける水山委員長

赤谷



長殿



栗平



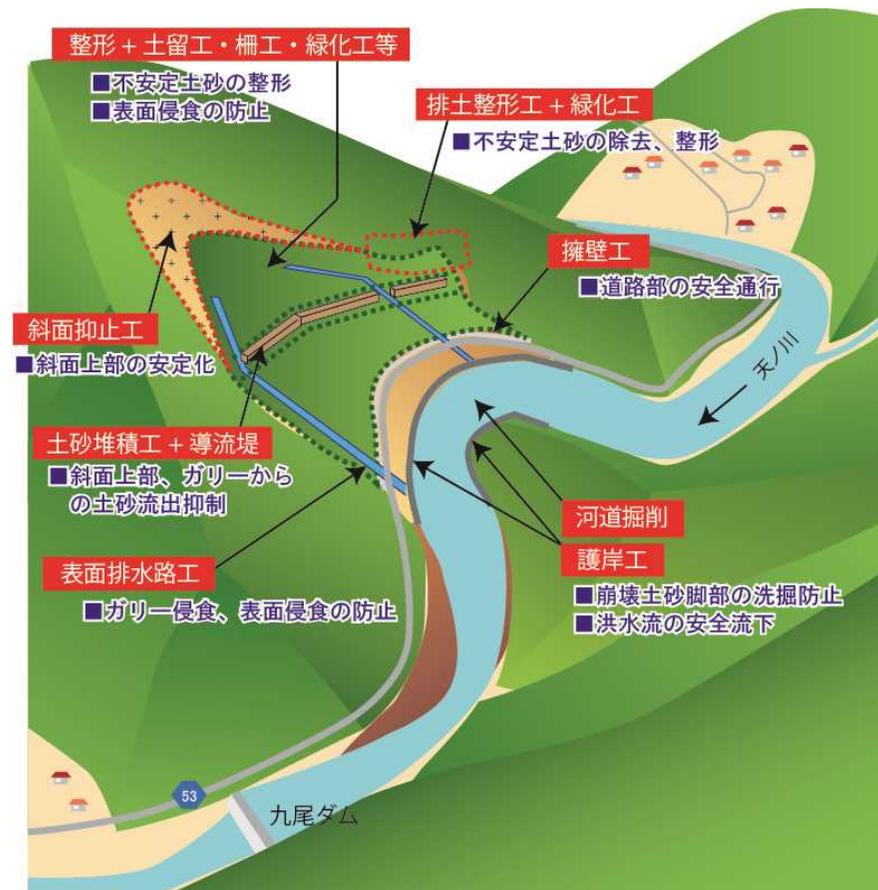
北股



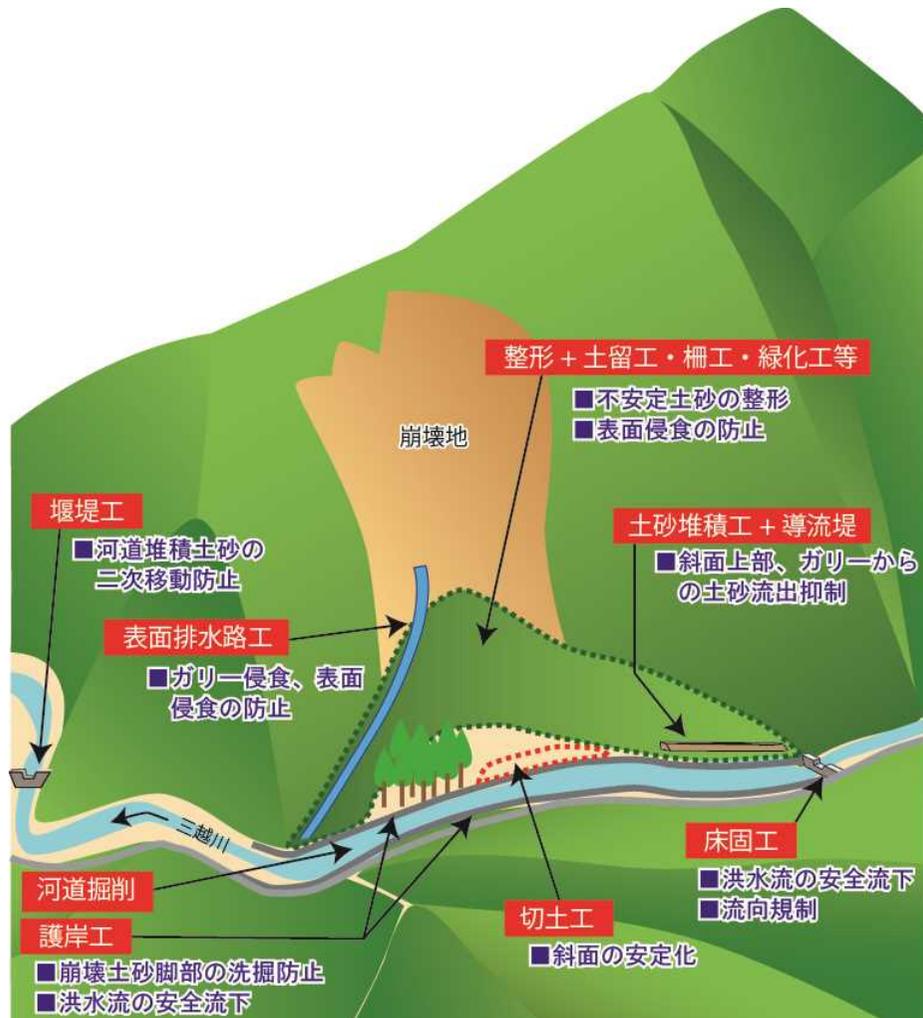
清水(宇井)



坪内



三越



赤谷

■整備目標

- ① 土砂ダム下流側では、堆積した土砂の流出を防止するための砂防堰堤等を整備します。
- ② 土砂ダムが、越流によって侵食されないよう天端に水路を整備し、土砂ダムの脚部には崩壊の進行を防止するための砂防堰堤を整備します。

■現状

- ① 土砂の流出を防ぐための砂防堰堤を施工中。平成28年度末に完成予定です。
 - ② 崩壊の進行を防止するための基幹となる砂防堰堤が完成しています。
- 土砂の流出を防止するための砂防堰堤が年度内に完成し、さらに土砂ダムの崩壊を防ぐための砂防堰堤が完成していることから、一定の安全度が確保されます。

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

①垂直壁工・床固工 施工状況



②砂防堰堤工



■	・・・完成
■	・・・H28施工中
■	・・・H29以降

長殿

■整備目標

- ① 土砂ダムが、越流によって侵食されないよう天端に水路を整備し、土砂ダムの脚部には崩壊の進行を防止するための砂防堰堤を整備します。
- ② 洪水流を安全に流下させるための排水路等を整備します。また、不安定な土を除去し、斜面の拡大崩壊を抑制します。

■現状

- ① 崩壊の進行を防止するための基幹となる砂防堰堤が完成しています。
- ② 洪水流を安全に流下させるための仮排水路が完成しています。また、斜面の拡大崩壊を防ぐため、不安定な土を除去する工事を施工中です。
→ 崩壊の進行を防止するための基幹となる砂防堰堤および、洪水流を安全に流下させるための仮排水路が完成しており、一定の安全度が確保されます。

H28.8.3撮影

頭部排土工

①

①排土工 施工状況



H28.10.28撮影

②前庭保護工



H28.10.21撮影



③仮排水路



H28.4.5撮影

写真A



栗平

■整備目標

- ① 堆積した土砂の流出を防止するための砂防堰堤を整備します。
- ② 堆積した土砂の流出防止および洪水流を安全に流下させるための排水路等を整備します。

■現状

- ① 土砂の流出を防ぐための砂防堰堤を施工中です。平成28年度末に完成予定です。
 - ② 堆積した土砂の流出防止および洪水流を安全に流下させるための水路を施工中です。
- 土砂の流出を防ぐための砂防堰堤および、洪水流を安全に流下させるための水路が完成することから、一定の安全度が確保されます。



北股

■整備目標

- ① 土砂ダムが、越流によって侵食されないよう天端に水路を整備し、土砂ダムの脚部には崩壊の進行を防止するための砂防堰堤を整備します。
- ② 堆積した土砂の流出を防止するための砂防堰堤等を整備します。また、洪水流を安全に流下させるため、溪流保全工等を整備します。

■現 状

- ① 崩壊の進行を防止するための砂防堰堤を施工中です。平成28年度末に本体部が完成予定です。
 - ② 堆積した土砂の流出を防止するための砂防堰堤および、洪水流を安全に流下させるための溪流保全工を施工中です。
- 宅地に近い砂防堰堤は完成し、崩壊の進行を防止するための砂防堰堤が平成28年度末に完成することから、一定の安全度が確保されます。



H28.8.3撮影



清水(宇井)

■整備目標

- ① 崩壊土砂脚部の侵食防止を図るため、護岸工を整備します。
- ② 崩壊斜面上部の安定化を図るため、斜面抑止工を整備します。

■現状

- ① 崩壊土砂脚部の侵食を防止するための護岸工を施工中です。
 - ② 崩壊斜面上部の安定化を図るための斜面抑止工が完成しています。
- 崩壊斜面上部の安定化を図るための斜面抑止工が完成していることから、一定の安全度が確保されます。

①護岸工 施工状況



②斜面抑止工



※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

H28.8.3撮影

大規模斜面崩壊3箇所の対応について

坪内

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

■整備目標

- ① 崩壊土砂下部の侵食防止を図るため、護岸工を整備します。
- ② 崩壊斜面上部の安定化を図るため、斜面抑止工を整備します。
- ③ 地下水を集水し、自然排水させるため、集水井工を整備します。

■現 状

- ① 崩壊土砂下部の侵食防止のための護岸工を施工中です。平成28年度末に完成予定です。
 - ② 崩壊斜面上部の安定化を図るための斜面抑止工の一部を施工中です。
 - ③ 集水井の一部を施工中です。
- 崩壊土砂下部の侵食防止のための護岸工が完成することから、一定の安全度が確保されます。

……完成
 ……H28施工中
 ……H29以降



H28.8.3撮影

三越

■整備目標

- ① 崩壊土砂下部の侵食防止を図るため、護岸工を整備します。
- ② 堆積した土砂の流出防止を図るため、砂防堰堤・床固工を整備します。また、洪水流を安全に流下させるために土砂を除去します。

■現状

- ① 崩壊土砂下部の侵食防止のための護岸工が完成しています。
 - ② 堆積した土砂の流出を防止するための砂防堰堤・床固工および、洪水流を安全に流下させるための排土工を実施済みです。
- 全体の対策が概ね完了し、一定の安全度が確保されています。

